

にしあいつ

木造旧校舎の一面に並ぶ 絵画で親しむ芸術の秋

- P 2～3 特集 第10回国際芸術村公募展
- P 4～7 平成26年度 町の決算
- P 8～9 人事行政運営状況
- P 10～11 西会津産米の販売促進
- P 12～13 第14回交通安全町民大会



10th anniversary

特集 西会津国際芸術村公募展 2015 開催

THE 10TH
NISHIAIZU INTERNATIONAL
ART VILLAGE EXHIBITION

第10回西会津国際芸術村公募展が9月26日から10月15日までの20日間にわたり開かれました。10回目の節目となった今回の公募展には183点の作品が寄せられ、芸術家を目指す学生や美術愛好家の皆さんが描いたさまざまな作品が木造の旧校舎を埋め尽くしました。



▲ 表彰式に参加した皆さんで記念撮影

公

募展の表彰式は10月10日に国際芸術村で行われ、伊藤町長が「年々、個性豊かで心惹かれる作品が増え、それに懸ける情熱がひしひしと伝わってきます。この公募展を芸術村事業の一つの核に、魅力ある芸術村にしていきたい」とあいさつしました。

受賞者には、公募展実行委員会の安藤壽美子委員長から賞状と記念品が贈られました。

続いて審査員を代表し、東京芸術大学先端芸術表現科特認教授の伊藤達矢さんが「感動できる心を持つ人がいるからこそ作品が残され、ほかの人がその良さに気付くきっかけをつくっています。作品をつくることでさまざまなつながりを持ってほしいと思います」と講評を述べました。表彰式後には祝賀会・交流会が行われ、参加者同士の親睦を深めました。

受賞者「敬称略」

【青少年の部】

大賞 懸想

野上 彦喜(宮城県宮城野高校)

準大賞 理想園

鼻戸 真綿(郡山女子大学付属高校)

新現役ネット賞 カナイ

小林 弘実(女子美術大学付属高校)

西会津町長賞 ちよっとひと休み

石川 美幸(宮城県宮城野高校)

西会津町商工会長賞 イタズラ

早坂知紗希(宮城県宮城野高校)

福島民友新聞社賞 祖母の家

近藤 涼加(県立白河高校)

西会津寺前自然塾賞 視線

笠原日菜子(宮城県仙台二華高校)

緑のかけ橋賞 ユメか現(うつつ)か

齋藤 日和(県立福島南高校)

【一般の部】

大賞 花あかり

小池 陽子(福島市)

準大賞 初秋の渓谷

新田 穂積(西会津町)

西会津ライオンズクラブ賞 ココロノ

イレモノNo.2 植野 智子(埼玉県)

西会津町長賞 はじめのはじまり

笠井 順子(東京都)

西会津町商工会長賞 過去・現在・そ

して未来 杉浦 寿宣(京都府)

福島民報社賞 寂静I(宇治平等院鳳

凰堂) 横田 孝一(東京都)

西会津寺前自然塾賞 平穏

木須 直樹(喜多方市)

緑のかけ橋賞 大空に向かって

新野 裕美(山形県)



一般の部 大賞

小池 陽子 さん
福島市在住

見る人に「あ、いいな」と
思ってもらえる作品を
描いていきたい

今回出品した作品は、自宅で育てている「木立性ペゴニア」という花を描いたもので、以前からいつかは描いてみたいなど思っていた作品です。この花は、茎が細い割にぼつりと大きな花を咲かせ、生命力や美しさを感じる事ができる魅力的な花です。この立派に輝くような花の重量感と存在感を見る人に伝えたいと思い、「揉み紙」という日本画の技法を全体に散りばめて描きました。

今回、大賞という賞をいただき、とてもうれしく思っています。しかし、まだまだ自分の作品に満足はしていません。これからもさらに腕を磨き、見る人に「あ、いいな」と思ってもらえるような作品を描いていきたいと考えています。

西会津国際芸術村には、一度来てみたいと分らない良さがあります。細い道を不安に駆られながら走っていくのもまた面白く、ぜひ多くの人に訪れてもらいたい魅力を感じてほしいと思います。

大賞に恥じる事の無いよう
技術・想像力を
成長させていきたい



青少年の部 大賞

野上 彦喜 さん
宮城県宮城野高校2年

昨年の公募展で佳作を受賞し、表彰式に出席したとき、皆さんからやさしく声をかけてもらい、佳作なのにコメントまでいただきました。自分の作品にこんな向き合ってもらえたことが初めてだったので私は、それが本当にうれしく、「来年も出品しよう」とその時点で決意していました。このアットホームさが、この公募展の良さだと思います。温かい雰囲気の間場をつくることで、芸術をより身近なものにしているように感じました。

今年は2年生になり洋画を専攻しましたが、日本画を出品しました。これは、昨年の作品が未完の日本画だったことによりです。今年こそはと思い出品した作品が大賞となりうれしい反面、友人たちの制作に対する努力を思い返し、賞の重みあらためて実感しています。

これからもこのような公募展に積極的に参加し、賞に恥じる事の無いよう技術・想像力を成長させていきたいです。

絵は「生きがい」
目で見たままの美しさ、
感動を伝えたい



一般の部 準大賞

新田 穂積 さん
西会津町萱本在住

この公募展には、第1回から今回まで毎年出品してきました。公募展に出品することはもう当たり前になっています。

第1回はほとんどが絵画クラブの作品でした。絵画クラブとして町の活性化に協力することはもちろん、出品することで町民の皆さんが芸術に関心を寄せるきっかけになればと思います。

近年は出品数が増え、作品のレベルも上がってきています。そんな中、第10回という節目の今回に準大賞をいただけたことは、不思議な縁を感じるとともに、とてもうれしく思っています。

今は絵を描くことが生きがいです。抽象画を描くこともありませんが、やはり写実的な絵で、目で見たままの美しさ、感動を伝えたいと思っています。楽しみながら描き、見る人の心を癒やせるような絵を、そして生まれ育ったふるさとを描き続けていきたいと考えています。



▲ 青少年の部 大賞受賞作品「懸想」



▲ 一般の部 準大賞受賞作品「初秋の渓谷」



一般の部 大賞受賞作品「花あかり」▶

平成26年度

決算

平成26年度一般会計・特別会計の決算が町議会9月定例会で承認されました。決算に表れる数字は、町がその年度にどのような事業に取り組み、どれだけのお金を使ったか、また、財政状況はどうか、将来の負担はどうかなるのかなどを読み取るために、重要な役割を果たします。今月号では平成26年度の町の決算をお知らせします。

決算概要

平成26年度一般会計の決算は、歳入総額が75億7千654万円、歳出総額が72億7千576万円、差し引き3億78万円でした。

このうち平成27年度に繰り越した事業に1億937万円の財源が必要となるため、歳入歳出差引額から平成27年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、1億9千141万円の黒字となりました。さらに、平成25年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、4千105万円の黒字決算となりました。

また、町では一般会計のほか、10の特別会計と水道事業会計で事業を行っています。

特別会計等では、上・下水道の整備のほか、国民健康保険や国保診療所、介護保険などの運営を行っており、平成26年度のすべての特別会計等の決算は、歳入が31億4千918万円、歳出は30億7千543万円となりました。

平成26年度 一般会計の主な事業

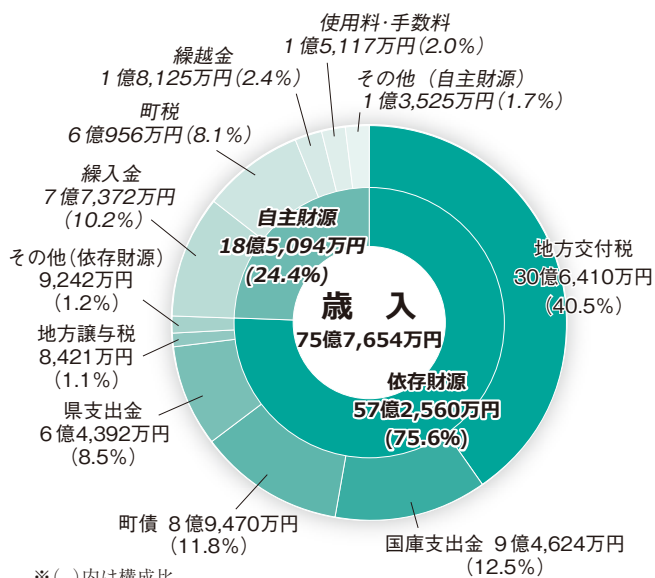
議会費	8,789万円	農林水産業費	4億3,145万円	
総務費	17億1,774万円	・中山間地域等直接支払事業 …… 8,165万円	・健康な土づくり・普及促進事業 …… 1,337 〳	
・社会保障・税番号制度システム改修事業 …… 941万円		・青年就農給付金事業補助金 …… 1,463 〳	・稲作経営緊急支援事業 …… 984 〳	
・役場庁舎移転整備測量及び実施設計委託料 …… 2,563 〳		・農業集落排水処理事業特別会計繰出金 …… 7,779 〳	・林道岩井沢橋ノ水平線開設事業[繰越含む] …… 3,719 〳	
・町制施行60周年記念事業 …… 209 〳		商工費	9,946万円	
・コミュニティ育成事業補助金 …… 342 〳		・企業誘致計画策定委託料 …… 328万円	・登山道整備事業[鏡山及び飯豊山] …… 502 〳	
[防犯灯及び街路灯LED化等事業]		・銚子ノ口環境整備事業 …… 611 〳	・消費者行政推進事業 …… 1,148 〳	
・地域おこし協力隊配置事業 …… 832 〳		土木費	8億1,086万円	
・町民バス運行業務委託料 …… 6,586 〳		・除雪費 …… 2億2,117万円	・町道改良舗装事業[繰越含む] …… 2億26 〳	
・選挙費[県知事・衆議院議員等] …… 1,895 〳		・明神橋耐震補強事業[繰越含む] …… 1億3,486 〳	・下水道施設事業特別会計繰出金 …… 1億976 〳	
民生費	11億5,817万円	消防費	1億7,473万円	
・国民健康保険特別会計繰出金 …… 1億1,132万円		・喜多方地方広域市町村圏組合 …… 1億1,444万円	負担金[消防費]	
[事業勘定・診療施設勘定]		・民友旗受賞記念事業実行委員会補助金 …… 248 〳	教育費	15億4,695万円
・出産祝金・結婚祝金 …… 393 〳		・西会津高校活性化対策事業 …… 730万円	[通学費・進路支援・修学資金貸付等]	
・小規模介護施設等整備補助金[繰越] …… 8,820 〳		・スクールバス運行業務委託料 …… 3,036 〳	・西会津小学校新築事業 …… 10億8,237 〳	
・介護保険特別会計繰出金 …… 1億6,732 〳		・西会津中学校空調設備設置事業 …… 3,499 〳	・西会津中学校天井等落下防止対策事業 …… 8,219 〳	
・後期高齢者医療療養給付費負担金 …… 1億1,396 〳		[繰越]	災害復旧費	3,716万円
・障がい者福祉サービス費 …… 1億1,864 〳		公債費	7億2,672万円	
・臨時福祉給付金等給付事業 …… 3,962 〳				
・乳幼児家庭子育て応援金 …… 532 〳				
・保育所業務委託料 …… 1億6,265 〳				
衛生費	4億3,277万円			
・水道事業会計繰出金 …… 9,364万円				
・インフルエンザ予防接種事業 …… 1,015 〳				
・各種検診委託料 …… 1,667 〳				
・妊婦健康診査事業 …… 316 〳				
・喜多方地方広域市町村圏組合負担金 …… 5,645 〳				
[斎場費・ごみ処理費等]				
・沖縄県宮古島市交流事業 …… 127 〳				
・ごみ収集委託料 …… 3,532 〳				
労働費	5,186万円			

一般会計 歳入

平成26年度の歳入総額は75億7千654万円となり、前年度の68億6千371万円と比べ7億1千283万円(10.4%)の増額となりました。

平成26年度は、普通交付税や寄付金、繰越金などが減額となった一方、特別交付税や震災復興特別交付税、インターネットや町営住宅などの使用料、西会津小学校新築事業に係る国庫支出金や県支出金、町債(借入金)などが増額となったため、平成25年度の歳入を大きく上回りました。

平成26年度の歳入の特徴は、風評被害対策に伴う関係経費のほか、学校施設の改修や臨時福祉給付金など、国や県からの交付による依存財源が増えるとともに、財産収入や財政調整基金などからの繰入金、諸収入など、町が自主的に得られる自主財源も増える結果となりました。



※()内は構成比

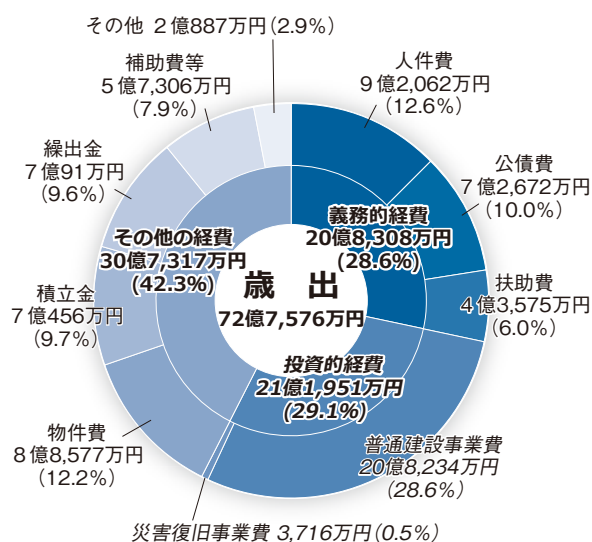
一般会計 歳出

歳出の総額は72億7千576万円、前年度の66億8千246万円と比べ5億9千330万円(8.9%)の増額となりました。

性質別に見ると、前年度に比べ義務的経費では人件費が4千600万円、扶助費が3千98万円の増額となり、町債(借入金)の返済費である公債費は1億3千640万円の減額となりました。投資的経費では、普通建設事業費が5億7千377万円、災害復旧事業費は2千297万円の増額となっています。

また、物件費などのその他の経費では、前年度に比べ5千600万円の増額となりました。

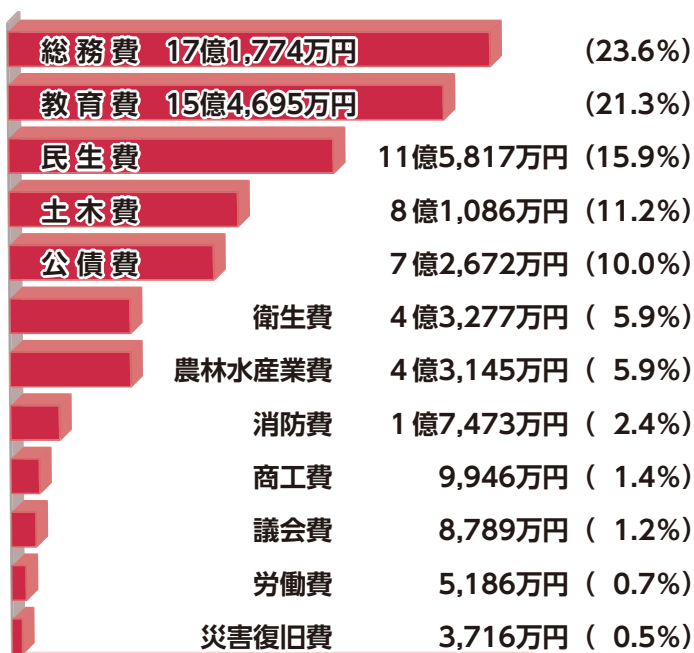
目的別に見ると総務費が全体の23.6%を占め、次いで、西会津小学校新築事業などを含む教育費が21.3%、民生費15.9%、土木費11.2%の順になっています(下左グラフ参照)。



※()内は構成比

目的別に見る一般会計の歳出

※()内は構成比



一般会計の決算収支状況

① 歳入総額	75億7,654万円
② 歳出総額	72億7,576万円
③ 歳入歳出差引額 (①-②)	3億78万円
④ 翌年度に繰り越すべき財源	1億937万円
⑤ 実質収支 (③-④)	1億9,141万円
⑥ 単年度収支	4,105万円
⑦ 財政調整基金積立金	4億439万円
⑧ 繰上償還金	0万円
⑨ 財政調整基金取崩額	6億4,984万円
⑩ 実質単年度収支 (⑥+⑦+⑧-⑨)	▲2億440万円

※⑥単年度収支は、⑤実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

基金〔貯金〕の残高

単位:万円

基金名	平成26年度末残高
財政調整基金	11億3,301
減債基金	52
庁舎整備基金	4億5,532
ふるさと振興基金	1,072
生きがい福祉基金	1,047
小中学校交流基金	1,972
国民健康保険給付費支払準備基金	9,913
介護給付費準備基金	1,044
下水道排水設備工事費貸付基金	1,272
東日本大震災復興基金	4,513
新田正夫教育振興基金	1,763
土地開発基金	9,175
生活援助貸付基金	1,005
肉用牛特別導入事業基金	698
高額療養費支払資金貸付基金	400

※地域の元氣臨時交付金事業基金は廃止

特別会計等の決算の状況

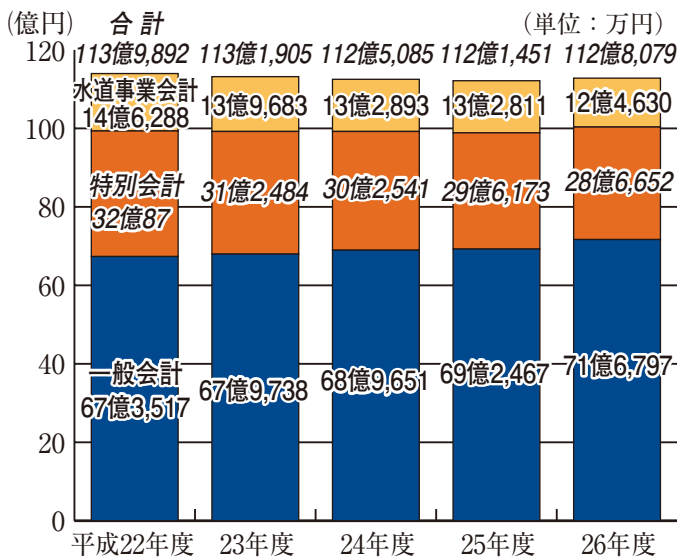
単位:万円

特別会計等名	歳入総額	歳出総額	差引額
工業団地造成事業	2	0	2
商業団地造成事業	1,348	0	1,348
住宅団地造成事業	783	263	520
下水道施設事業	1億9,862	1億9,455	407
農業集落排水処理事業	1億1,233	1億708	525
個別排水処理事業	5,290	5,103	187
後期高齢者医療	1億383	1億373	10
国民健康	9億7,400	9億2,550	4,850
保険	2億8,315	2億7,711	604
介護保険	11億851	10億6,858	3,993
簡易水道等事業	9,084	8,834	250
水道事業	1億6,181	1億5,645	536
会計	4,186	1億43	▲5,857

健全化判断比率

指標	平成25年度	平成26年度	基準値
実質公債費比率 (標準財政規模に占める借入金の返済額の割合)	13.7%	12.4%	25%以上 →早期健全化 35%以上 →財政再生
将来負担比率 (標準財政規模に対する将来の負債の割合)	90.7%	87.0%	350%以上 →早期健全化

年度末の町債〔借入金〕残高の推移



※上記の残高のうち、およそ6割が地方交付税で補てんされるため実質的な町の負担は4割程度になっています。

財政健全化に関する比率

平成26年度決算における財政健全化判断指標の実質公債費比率や将来負担比率は、左下表のとおりです。国が定める基準値を下回っており、平成25年度より実質公債費比率が1・3%、将来負担比率が3・7%減少し、数値が改善しました。

この要因は、町債(借入金)の返済金が減ったことに加え、地方交付税で返済財源が補てんされる有利な町債(借入金)を借り入れてきたためです。

しかしながら、平成26年度末の町債(借入金)の残高は、西会津小学校新築事業など学校施設

設の改修を含めた大規模事業を実施したため、112億8千79万円となり、平成25年度と比べ、6千628万円(0・6%)の増額となりました(左下表)。

なお、町の歳入は地方交付税が40%を占め、約8割が依存財源であることから、今後も計画的な町債の借り入れをはじめ、将来負担の抑制や自主財源の確保、さらには事務事業の合理化などに積極的に取り組み、引き続き中長期的視点に立った健全な財政運営に努めていきます。

平成26年度に実施した主要事業

一般会計

コミュニティ育成事業補助金
【防犯灯及び街路灯LED化】
決算額 342万円

本町における省エネルギー対策を一層推進するため、平成26年度から自治区で管理する防犯灯及び街路灯のLED化に対する補助制度を創設しました。平成26年度は、防犯灯119基、街路灯21基を補助しましたが、町では今後も自治区の要望を踏まえ、LED化を図っていきます。

一般会計

西会津小学校新築事業
決算額 10億8千237万円

町では平成24年5月に約2万6千500平方メートルの用地を取得し、平成25年度から本格的に着手した小学校の新校舎建築が平成26年度に完了しました。

総事業費17億8千910万円、用地取得から2年10ヶ月の歳月を経て2階建ての南校舎及び北校舎、グラウンドなどが完成し、西会津小学校は、今年4月から新校舎での授業を開始しています。

一般会計

地域おこし協力隊配置事業
決算額 832万円

町では、都市部などから若い人材を募り、町外からの視点や柔軟な発想と行動力を生かして地域活性化につなげることを目的に、平成25年6月から地域おこし協力隊を配置しています。

平成26年度からは3名体制となり、地域のイベントや国際芸術村の活動などに携わるとともに、観光PRや地域資源の発掘など交流人口の拡大に向けた取り組み、さらには、農林産物の販売促進や加工品開発などの支援業務を担っています。



新たな体験プログラム発掘のため猿袴(サルバカマ)の製作方法を学ぶ協力隊

特別会計

青坂地区飲料水供給施設拡張工事
(繰越事業)
【簡易水道等事業特別会計】
決算額 907万円

現在、町が管理する簡易水道施設が7施設、飲料水供給施設が3施設あり、これまで老朽管の更新や施設修繕などを実施し、水道水の安定供給に努めています。

平成26年度は、生活用水に支障があった縄沢自治区の甲石地区において、青坂地区飲料水供給施設を拡張し、水道の普及を図りました。

特別会計

野沢処理区下水道管敷設工事
【下水道施設事業特別会計】
決算額 5千853万円

町の下水道は、特定環境保全公共下水道として平成5年から整備を進めています。

平成26年度は、堀越・牧地区の舗装本復旧工事、芝草地区及び野沢字桜木前地内の下水道管敷設工事を行いました。

特別会計

個別排水処理施設整備工事
【個別排水処理事業特別会計】
決算額 2千237万円

公共下水道や農業集落排水などの集合処理地区以外では、町が保守管理を行う合併処理浄化槽の整備を進めています。平成26年度は、野沢地区2基、尾野本地区4基、群岡地区1基、新郷地区6基、奥川地区3基、合計16基の浄化槽を整備しました。

特別会計

訪問看護事業
【国民健康保険特別会計】
決算額 1千14万円

地域医療の安定・充実を図るとともに、特に在宅サービスの向上を推進するため、平成26年度から西会津診療所内に訪問看護事業所を設置し、サービスを提供しています。

平成26年度においての利用回数は、延べ1千423回となっています。



人事行政 運営状況

職員数、給与などを公表

②職員給与の状況[平成25年度一般会計決算]

職員数(A)	給与費計(B)	1人当たり給与費B/A
93人	51,423万円	553万円

※職員数は一般会計で給与を支出している人数

③平均給料月額など

職 種	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
行 政 職	332,700円	373,100円	43.5歳

※平均給料月額とは基本給の平均で、平均給与月額は給料月額と扶養手当や住居手当などの諸手当の額を合計したもの。

④ラスパイレ指数[各年度4月1日現在]

年 度	西会津町	福島県内 町村平均	全 国 町村平均
平成26年度	97.8	97.9	95.6
平成21年度	96.2	97.1	94.6

※ラスパイレ指数とは国家公務員の給与水準を100とした場合の町職員の給与水準を示したものの。

⑤初任給の状況[平成26年4月1日現在]

区 分	西会津町	福 島 県	
行 政 職	大学卒	175,100円	181,800円
	高校卒	142,500円	146,900円
技能労務職	高校卒	139,600円	144,500円
	中学卒	127,500円	136,100円

⑥手当の状況

◆扶養手当[年額]

内容および支給単価 (平成26年4月1日現在)	支給実績額 (平成25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成25年度決算)
配偶者 13,000円	14,833,000円	239,242円
配偶者以外 6,500円		
16歳から22歳までの子への加算措置 5,000円		

町職員の人数や給与、勤務条件など人事行政の運営状況について地方公務員法に基づきお知らせします。

なお、他団体と比較できるように国の統一公表様式に準じているため、1年前の数値で公表しています。

1 職員数など

①職員数の状況[平成26年4月1日現在] 単位：人

職 種	職 員 数
行 政 職	116
医 療 職	4
技能労務職	1
合 計	121

※条例で定める職員定数は164人で、43人少なくなっています。

②部門別職員数[平成26年4月1日現在] 単位：人

部 門	職員数	部 門	職員数
議 会	2	商工観光課	7
総 務 課	14	農林振興課	10
企画情報課	7	建設水道課	14
町民税務課	13	出 納 室	3
健康福祉課	39	教 育 課	12
合 計			121

③職員の採用および退職の状況 単位：人

職 種	採用 (H26.4.1)	退職(H25.4.2~H26.3.31)			合計
		定年	勸奨	その他	
行 政 職	3	0	0	1	1
技能労務職	0	0	0	0	0
合 計	3	0	0	1	1

※町では、平成16年度から業務の効率化、事務事業の見直しなどにより職員数を削減しています。

2 職員数など

①人件費[平成25年度一般会計決算]

歳出総額 (A)	668,246万円
人件費 (B)	87,288万円
人件費率 B/A	13.06%

◆期末・勤勉手当[平成25年度]

期末手当	勤勉手当	1人当たりの平均支給額
2.55月分	1.35月分	1,412,065円

※職制上の段階などによる加算措置として、役職加算で5～15%を加算しています。期末・勤勉手当は年間3.90月分を6月と12月の2回に分けて支給。なお、国の支給割合は期末手当2.60月分、勤勉手当1.35月分。

◆退職手当[平成26年4月1日現在]

区分	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	21.62月分	27.025月分
勤続25年	30.82月分	36.57月分
勤続35年	43.70月分	52.44月分
最高限度額	52.44月分	52.44月分

⑦特別職の報酬など[平成26年4月1日現在]

区分		給料月額等
給料	町長	729,000円
	副町長	612,700円
報酬	議長	265,400円
	副議長	216,900円
	議員	195,000円
期末手当	町長	2.90月分
	副町長	
	議長	
	副議長	
	議員	

3 勤務時間の状況

◆勤務時間[平成26年4月1日現在]

1週間の勤務時間	1日の勤務時間
38時間45分	7時間45分

勤務体系	開始時刻	終了時刻
通常	午前8時30分	午後5時15分

勤務体系	休憩時間
通常	正午～午後1時

◆住居手当[年額]

内容および支給単価 (平成26年4月1日現在)	支給実績額 (平成25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成25年度決算)
借家(家賃9,500円以上) 上限27,000円	3,818,250円	224,603円

◆通勤手当[年額]

内容および支給単価 (平成26年4月1日現在)	支給実績額 (平成25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成25年度決算)
交通機関利用 月額相当額	8,841,600円	107,824円
自家用車利用 2,700円～ 45,800円		

◆管理職手当[年額]

内容および支給単価 (平成26年4月1日現在)	支給実績額 (平成25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成25年度決算)
課長職以上 参事～44,600円 課長～42,300円 主幹～29,800円 診療所長～ 150,100円 診療所長代理～ 123,500円	12,385,200円	774,075円

◆寒冷地手当[年額]

内容および支給単価 (平成26年4月1日現在)	支給実績額 (平成25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成25年度決算)
11月～3月 7,360円～ 17,800円	7,916,400円	65,970円

◆特殊勤務手当[平成26年4月1日現在]

支給実績(医師分を除く)	334,800円
手当支給職員の割合	12.3%
手当の種類	8種類

西会津の
お米を食べよう！



極上の西会津産米を！

実りの秋を迎え、9月に始まった町内の米の収穫作業はほぼ終了しました。今年、春先から夏にかけての高い気温と降雨量の不足、さらにはお盆以降一気に下がった気温と日照時間の不足で、水稲農家にとっては大変な一年となりました。会津は全国でも有数の米どころです。その中でも、西会津の米は昔から「うまい」という呼び声が高く、これまでも、町内の生産者が「米・食味分析鑑定コンクール・国際大会」に米を出品し、過去10年間で6回の表彰を受けたといった実績を上げています。

今月号では、米価下落や担い手不足など厳しい状況の中、逆境に立ち向かう水稲農家の皆さんの西会津産米販売力強化に向けた取り組みを紹介いたします。

第1回新米まつり開催

9月27日、道の駅にしあいづを会場に「第1回新米まつり」が開催されました。毎月開催している「わんちゃん集まれっ会市」の開催に合わせ、西会津のおいしい米を来場者に味わってもらおうと行われました。

当日は、江川誠作さん(牧)の西会津げんき米コシヒカリ、橋谷田ファームの特別栽培米コシヒカリ、上野尻の明日を考える会の須刈千年米など、この日のために用意された新米の試食・販売が行われ、来場者の皆さんは食べ比べながら好みの米を買い求めています。



上野尻の明日を考える会

上野尻地区では、平成26年から有志で「上野尻の明日を考える会」を立ち上げ、耕作されなくなった休耕田を活用した協働での米栽培を行っています。収穫した米を「須刈千年米」として売り出すなど、積極的な西会津産米の販売促進に取り組み「上野尻の明日を考える会」について、代表の齋藤啓二さんに話を伺いました。

INTERVIEW

私たちが主に取り組んでいるのは、「須刈千年米」の生産・販売と、野菜などの直売所の運営です。上野尻の明日を考える会では、現在およそ5反の水田に作付けし、友人や知人などを中心に販売しています。田植えや稲刈りをはじめとした作業は会員で協力して行い、肥料などの経費は売上から精算しています。正直なところ、収益はほとんど無いかもしれませんが、しかし、収益を上げることより、少しでも多くの人に西会津の米や野菜のおいしさを知ってもらうことが大切だと思っています。また、会員同士で集まってアイデ



上野尻の明日を考える会
代表 齋藤 啓二さん

アを出し合い、農業の明日を考えることはとても楽しい時間です。ぜひ、若い人にもどんどん参加してもらい、一緒に上野尻の明日について考えてほしいと思っています。いきなり後継者が現れることはまずありません。少しずつでも農業に触れてもらうことが重要だと思っています。みんなが参加しやすいよう、私たちも楽しみながらこの会を続けていきたいと考えています。

西会津一うまい米コンテスト

第30回ふるさとまつりに合わせ、「第2回西会津一うまい米コンテスト」が開催されました。昨年からはまったこのコンテストは、県の食味分析計で食味値を分析する1次審査で上位5人を決定し、五ツ星お米マイスターを含む7人の審査員が試食する2次審査で優勝者を決定しています。今年は99点の応募があり、10月23日に実施した2次審査の結果、長谷川護さん(縄沢)のコシヒカリが優勝の栄冠を手に入れました。

優勝者、準優勝者の米は、ふるさとまつりで実施した西会津ふるさとまつり大抽選会の景品として贈呈されました。

審査結果

優勝

準優勝

長谷川護さん(縄沢)

川瀬典宏さん(萱本)

江川誠作さん(牧)

長谷沼勉さん(高目)

武藤正喜さん(柴崎)

農業体験「米食美ツアー」開催

今年度、町では、国の地方創生事業を活用し、「米食美ツアー」を実施しました。このツアーは、春の田植えと秋の稲刈りなどを体験してもらい、収穫した米を食べることで西会津産米の魅力を感じてもらおうツアーです。参加者と町内の農業者が交流することで地域の活性化を図り、また、参加者が農作業を実際に体験することにより、米をはじめとする町の農林産物の応援団になってもらう、さらには就農による移住・定住へとつなげることを目的としています。

今回の米食美ツアーでは、最近そのデザインや機能性から若い世代に見直されつつある猿袴(サルバカマ)に焦点を当て、オーダーメイドの猿袴づくりをPRポイントとして若い女性をターゲットに首都圏などから参加者を募集しました。

6月6日から1泊2日の日程で行った春のツアーには東京や神奈川などから10人の参加者が集まり、田植えやアスパラガスの収穫などの農業体験を行いました。また、猿袴づくり体験では猿袴のデザインを決めました。

10月10日からの1泊2日で行われた秋の「米食美ツアー」には、春に参加した8人が再び西会津を訪れました。完成したオーダーメイドの猿袴を身に付け楽しそうに稲刈りをする参加者の皆さんは、秋の実りを実感し、収穫の喜びを分かち合っていました。

稲刈り体験の後は、生産者との交流会で町内農家との親睦を深め、2日目には会津いいで農業協同組合西林倉庫で西会津産米の安全安心に向けた米の全量全袋検査の様子を見学しました。

町では、こうした西会津産米の魅力を発信する取り組みを今後も継続していき、さらなる西会津産米の販売促進に努めていきます。





故 目指して

— 第14回交通安全町民大会 —

10月4日、交通安全関係者が一堂に会し、安全で快適な交通社会の実現に向けてまい進することを確認するとともに、交通安全に対する意識の高揚と実践活動の普及浸透を町民の皆さんに広く周知するため西会津町交通安全町民大会が開催されました。

10月1日現在、県内の交通事故による死者数は56人となっており、このうち喜多方警察署管内では前年同期と同じ2人が交通事故の犠牲となっています。死者数は前年同様ですが、重傷者は増えており、重大事故の増加がうかがえます。

こうした中、本大会を契機に、町民の皆さん一人一人が人命尊重の理念のもと交通安全の大切さを自覚し、正しい交通ルールと思いやりあるマナーを身に付けて、明るく住みよい町を築いていくため本大会は開催されました。

式典の前には、西会津小学校の児童の皆さんが町役場から公民館まで鼓笛パレードを行い、大会を盛り上げました。

式典では、交通事故犠牲者に対する黙とうの後、大会長の伊藤町長が「町民・交通安全関係団体・行政などが一丸となり、交通事故のない安全・安心で明るく元気なまちづくりを進めていきます」とあいさつし、続いて長年にわたり交通安全活動に尽力された方々への表彰が行われました。その後、8名の皆さんから交通安全メッセージが発表され、最後は、交通事故ゼロに向けた大会宣言が採択されました。

式典終了後には、交通安全パレードと県警察音楽隊によるアトラクションが行われました。

交通安全メッセージ

(運転者の部) 運転者は、時間に余裕を持ち、譲り合う気持ちで運転をしましょう。「命を懸けて走るよりベルトを締めて安全運転」です。歩行者や相手のドライバーなど全般に気を配り、やさしい運転を心掛けてほしいと思います。



星 實さん
(4町内)

(高校生の部) 自分の命を守るためにも、誰かを守るためにも、普段から周囲に目を向け、突発的な事故に巻き込まれないように、また、自分で事故の原因をつくってしまわないよう強く意識し、身近なところから気を付けなければならないと思います。



荒海正樹さん
(西会津高3年)

(高齢者の部) 高齢者が運転を続けるには、「あの人は年をとっても若い人と変わらないね」と言われるような運転ができなければならないと思っています。自信が無くなったら迷わず運転することをやめる。この決断ができるかどうか大切です。



渡部雅二郎さん
(黒沢)

(家庭の部) 「急がなくては」というときほど、穏やかな運転をするよう心掛けています。今当たり前前に送っている当たり前の生活を、交通事故で壊してしまわないように、これからも交通ルールを守り、安全運転を心掛けていきたいと思っています。



貝沼啓子さん
(上野尻)



交通事故 ゼロを

①西会津小学校鼓笛隊の皆さんによるパレード／②式典であいさつする大会長の伊藤町長／③県警察音楽隊と大会参加者によるパレード／④代表で特別功勞表彰を受ける矢部忠夫さん(中ノ沢)／⑤大会宣言を読み上げる交通安全母の会渡部友子会長

大会受賞者「敬称略」 特別功勞者表彰

▼小林博貴(4町内)▼小柴百合子(7町内)▼磯部由春(7町内)▼新田恵(下小屋)▼相原孝子(芝草)▼西田春喜(安座)▼上野新哉(呼賀)▼杉本正充(向原)▼鈴木富美子(向原)▼矢部忠夫(中ノ沢)▼佐藤早苗(極人)

功勞者表彰

▼星亨子(4町内)▼伊藤五月男(5町内)▼植木淳(9町内2)▼小林重良(下小屋)▼平野弘幸(西林)▼目黒賢一(牛尾)▼田崎宗作(小杉山)▼佐藤健一(橋立)▼矢部恵美(中町)▼伊藤克子(塩)

優良団体表彰

▼西会津町交通安全母の会

善行表彰

▼西会津ライオンズクラブ
▼望月勝雄(西林)



▲受賞者を代表して謝辞を述べる杉本正充さん

交通安全メッセージ



伊藤大河さん
(西会津小6年)

(小学生の部) 下級生のお手本になれるよう交通ルールをしっかり守りたいと思います。また、友達や家族が間違っことをしそうなときは、お互いに注意し合いたいです。これが地域全体に広がって行けば、事故のない安全な社会になると思います。



伊藤莉穂さん
(西会津小6年)

(小学生の部) 「少くから大丈夫だろう」という気の緩みが大きな事故につながる場合があります。交通事故で悲しい思いをしないよう、一人一人が日ごろからしっかりと交通ルールを守り、みんなが笑顔で過ごせるようにしましょう。



高野詩音さん
(西会津中2年)

(中学生の部) 運転する人も歩行者も「いつもの道をいつもの感覚で通れば大丈夫」と無意識に思っているはず。しかし、天気や道路状況、時間帯など少しの違いが大きな変化をもたらします。ちょっとした違いを見逃さず、安全を心掛けましょう。



物江竜平さん
(西会津中3年)

(中学生の部) ルールを守ることよりも守ろうとする気持ちを持つことが、車やバイク、自転車などを利用した便利で安全な生活を送るためには必要だと思ひます。一人一人が自覚を持ち、事故のない安全な生活を送りましょう。

町の元気発信 普及会が県知事と意見交換

県知事が県内で活躍している人たちの現場を訪れ、直接県民の声を聞く「チャレンジふくしま訪問」が10月2日、交流物産館よりっせで開かれ、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんが内堀知事と意見交換を行いました。意見交換会は終始和やかな雰囲気に入れ、生き生きと明るい会員の皆さんから話を聞いた内堀知事は「西会津にこういった団体があって、それが良い流れを生んでいることはとても素晴らしいことだと思います」と話しました。[写真＝左から普及会の渡部佳菜子さん、宇多川洋さん、内堀知事、武藤佐代子会長、目黒満理子さん、佐藤美恵子専門員]



国道49号駐車帯にポイ捨て防止啓発看板

10月9日、町内の国道49号駐車帯12カ所に、こゆりちゃんが描かれたごみポイ捨て禁止の啓発看板が設置されました。これは、ポイ捨てが多く見受けられる国道49号駐車帯に啓発看板を設置することで、ポイ捨てを抑制し、町の良好な環境を保つとともに環境美化意識の向上へとつなげるため、国土交通省郡山国道事務所会津若松出張所、町、喜多方警察署が連携して設置しました。このようにキャラクターのイラストが描かれた啓発看板の設置は県内初で、かわいらしいイラストがポイ捨てを抑制してくれるのではと期待されています。



福島ホープスの選手がコメの収穫手伝う

10月10日、プロ野球独立リーグの福島ホープスの長嶺拓未外野手(若松商高卒)、志衣磨捕手(福島工高卒)などの選手5人が、塚原慶一さん(下野尻)所有の田んぼを訪れ、地域貢献活動の一環としてコメの収穫を手伝いました。収穫には西会津中学校の野球部とソフトボール部の皆さんも訪れ、憧れの選手たちと一緒に汗を流しました。収穫が終わった後は、昼食交流会やミニ野球教室などが開かれました。福島ホープスの選手5人は多くの町民と触れ合い、地域に元気を与えました。[写真＝西会津中学校の生徒たちと一緒にコメの収穫に汗を流す福島ホープスの選手]



15周年を記念し演奏会

西会津町を拠点に活動するさゆりストリートジャズオーケストラが結成15周年を迎え、10月4日、西会津中学校多目的ホールで演奏会を開催しました。演奏会開始前には、代表の渡邊昇二さんが「今日のテーマは皆さんと一緒にジャズを楽しむことです。音に合わせて自由に手拍子するなど楽しい一日を過ごしましょう」とあいさつし、来場者を歓迎しました。演奏会は、さゆりストリートジャズオーケストラのテーマソング「ケンセラ」から始まり、軽快なダンスや歌声を披露するさまざまなゲストと協演し来場者を楽しませました。

健康づくりは・朝が・いちばん

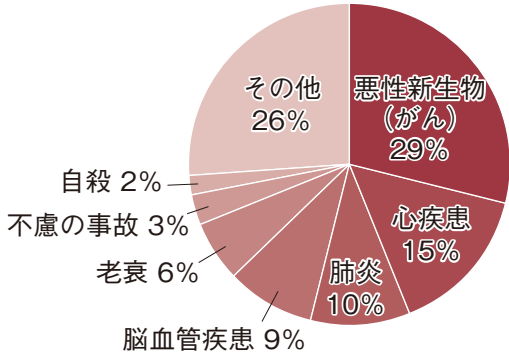
健(検)診で減らす「がん」のリスク

がんの患者数と死亡者数はこの30年で激増しており、現代の日本では、約3人に1人が、がんで亡くなっています。

生活習慣の変化などがその一因だといわれ、がんは私たちにとって身近な病気となってきました。がんの予防・早期発見のためにも毎年の健(検)診はきちんと受診し、健康づくりに役立てましょう。

がんは死因の第1位

がんは、過去32年もの間、死因の第1位になっています。年間約36万人が、がんで亡くなっており、この数値は交通事故死亡者の約82倍です。平成25年中の主な死亡原因の割合は次のとおりです。



予防と早期発見が大切です

喫煙による肺がんのリスクが、非喫煙者と比べ男性で約4・4倍、女性で約2・8倍高くなるように、がんの中には要因が分かっているものがあります。このようながんは、禁煙するなど、可能な限り予防することが大切です。

しかし、がんの多くはまだ要因が解明されておらず、また、ほとんどは初期の自覚症状がありません。逆に、自覚症状が現れる頃には、かなり進行しているかもしれません。だからこそ、毎年の健(検)診で体の状態を確認することが重要なのです。がんを早く見つけることができれば、それだけ治療の効果を高めることができ、生存率も高くなります。

▼ がんを発見した時期と生存率

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
早期(ステージⅠ)に発見した場合の生存率	97.6%	99.4%	80.3%	98.8%	92.2%
進行後(ステージⅣ)に発見した場合の生存率	8.0%	15.1%	4.8%	33.3%	22.2%

※ステージⅠ = がん細胞が筋肉の層まででとどまっている状態

※ステージⅣ = 最初にがん細胞ができた部位を超え、離れた臓器などに転移している状態

▼ 平成25年度の町の各種がん検診受診率

	胃がん	大腸がん	肺がん
受診率	36.7%	44.8%	62.2%
精密検査受診率	80.9%	74.8%	89.5%

※胃がん検診は30歳以上、大腸がん検診は40歳以上、肺がん検診は40歳から64歳の人を対象

健(検)診結果を生かしましょう

皆さん今年の健(検)診結果はいかがでしたか？健診は受けて終わりではなく、その後の生活習慣を改善することが重要です。異常値が出た場合は、自覚症状がなくても必ず医師に相談し、数値に問題がない場合も以前の健(検)診結果と見比べ、大きく変わっているところがないか確認してみましょう。

健(検)診をまだ受けていない場合は、早めに受診しましょう。また、結果が要医療、要精密検査の場合は、忘れずに二次検査を受けてください。

すごいな！むし歯のない子



9月16日、3歳児6人を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は4人でした。

【問い合わせ先】

健康福祉課 健康支援係
☎ 45-4532

診を受診しましょう。
*毎月最終木曜日は健康相談日です。健(検)診結果の見方や、生活習慣の改善方法など、お気軽に相談ください。

鮭をふっくら味わう主菜と副菜

秋を味わう 生鮭とキノコの 辛みそ 包み焼き

28

材料 (2人分)

生鮭 2切れ
キノコ(シメジ・エノキ茸・
シイタケなど) 100g
レンコン ½節
ニンジン ¼本
A {みそ・みりん 各大さじ1
豆板醤 小さじ½

作り方

- ①キノコ類の軸を取り、シメジは小房にし、エノキ茸は3cm長に切り、シイタケは笠に飾り切りをする。
- ②レンコンは皮をむいて5mm厚の半月切りに、ニンジンは2〜3mm厚の半月切りにする。
- ③オーブンシートを2枚用意し、野菜とキノコ類をそれぞれ半量ずつのせる。その上に鮭を1切れずつのせてAをかけ、それぞれ包む。
- ④電子レンジ(600W)で1つずつ6分加熱し、1〜2分蒸らせば出来上がり。



チャレンジ!!

シリーズ

食育

秋の味覚は
適量を堪能する

●「食欲の秋」の体重コントロール

秋はおいしい果物がたくさんあるね。毎日、適量を食べようね。



果物の適量はどのくらい?

柿やリンゴ、ブドウ、梨など果物がおいしい季節になりました。食べ過ぎていないかチェックしてみましょう。

果物の適量 (1日)

種類	量(g)	種類	量(g)
柿	大1個(130g)	梨	半分(190g)
リンゴ	半分(150g)	バナナ	1本(95g)
ブドウ	中1房(140g)	みかん	中2個(180g)

※どれか1種類のみ食べる場合の量です。

秋

はサンマや鮭、クリ、サツマイモに新米など、旬で魅力的な食べ物が多くついつい食べ過ぎてしまいがちな季節です。食欲の秋で体重が増加しダイエットを始めることになってしまわないよう、秋の味覚も腹8分目を意識して、適量をおいしくいただきましょう。

また、厳しい冬を健康的に過ごすためには、秋のうちに備えることをおすすめします。昔から「柿が赤くなれば医者も青くなる」といわれてきたように、柿や梨など秋の果物には、喉を潤し、咳を静める効果が期待できるものがそろっています。冬は、空気が乾燥するため喉や皮膚にトラブルが起こりやすく、また、風邪をひきやすくなります。秋の果物で体調を整えておきましょう。

上手に食べて肥満予防

- 食事をするときには、最初に温かいスープなどを飲んで胃を温め、胃の働きを高めることから始める。
- 肉などの高エネルギーのものを食べる前に、野菜や豆腐など低エネルギーのものをたっぷり食べ、おなかを膨らませておく。
- ゆっくりと時間をかけ、良くかんで食べる。



市町村対抗野球大会

新生チーム初陣飾れず

福島民報社などが主催する第9回市町村対抗福島県軟式野球大会が開催されました。西会津町チームは、9月19日に須賀川市の牡丹台野球場で強豪の南会津町チームと対戦し、残念ながら0-12で初戦敗退となりました。



▲ 選手の皆さん(ユニフォームは以前のもの)

▼ 4番の増子選手



▼ 激励会で宣誓する佐藤健吾主将

▼ 西会津チームを応援する皆さん

▼ 4回から登板した安部投手



大会は、9月12日から10月4日までの土日と祝日に、郡山市の開成山野球場など4つの野球場で開催され、県内の59市町村すべてが参加しました。

今回から西会津町チームの監督が、第2回の初出場から7年連続でチームを率いてきた伊藤一男さん(下野尻)から新田佳男さん(釜ヶ崎)に代わり、また、選手も若手を中心に昨年から9人が入れ替わりました。さらに、初出場から変わらず使用していた黒を基調としたユニフォームは白を基調に一新し、チームにとって節目の年になりました。

新生西会津町チームは、7月から練習を開始しました。例年はさゆり公園野球場で夜間練習を行っていましたが、今年はマイイガ対策のため8月末までナイター照明を使用することができず、練習は早朝や休日に練習を重ねました。

9月19日、西会津町チームは、2年連続の初戦突破を目指し、須賀川市の牡丹台野球場で南会津町と対戦しました。南会津町は上位進出の常連で、前回大会もベスト16に進出した強豪です。会場には、町実行委員会主催のツアーに参加した町民の皆さんなど大勢の人が応援に駆けつけ、選手を盛り上げました。

西会津町チームの先発ピッチャー

は、前回大会で初戦突破の原動力となった三留怜央選手(上野尻)です。1回表はランナーを出しながらも無失点に抑え、上々の立ち上がりを見せました。

しかし、2回に安打を許し先制点を奪われると、3回には守備の乱れもあり、さらに1点を献上しました。4回からは安部信仁投手(安座)がマウンドに上がりました。安部投手が4回を無失点に抑え、その裏、4番の増子祐哉選手(7町内)がチーム初ヒットを放ち一時反撃ムードとなりましたが、後が続かず得点にはつながりませんでした。5回には安部投手が死球や安打などで3点を失うと、6回に3番手としてマウンドに上がった秦研人投手(さゆりが丘)も相手の強烈な打線に捕まり、試合は残念ながら0-12(6回コールド)で敗れました。

試合終了後のミーティングで新田監督は、「われわれは、これで終わったわけではない。力をつけ、来年はもっと強いチームになって帰って来よう」と選手を激励しました。

監督の言葉に、選手の皆さんは心一つにし、来年の奮闘を誓い合いました。

今大会は、福島市チームが優勝し、見事連覇を達成しました。



町民バトンタッチ

いがらし ともひこ
五十嵐 智彦 さん [滝坂]

わたなべ あきら
渡部 暁さん (10月号) からメッセージ

12月にまたビーチボールバレーとおいしいお酒で楽しみましょう!

あなたの趣味は?
釣り

特技は? バレーボール

熱中していることは?
バレーボールの指導

最近感動したことは?
5年ぶりの県大会出場に
コーチとしてベンチ入りし
一緒に戦えたこと

自分を一言で表現すると?
楽観的

あなたのモットーは?
何事も前向きに楽しく

これからやってみたいことは?
砂浜でビーチボールバレー

次の方を紹介してください
S・Wさん (堀越)

大切なものは? 「県大会のパ
ネル写真と大会要項。一人一人
が自信を持って、仲間を信じ、
プレーしていました」



町民 ギャラリー

さゆり 中学

[10月6日学習会]

鎌の音サクサクサクと千枚田
秋雨や若者のデモ安保法
このにがさ毎年ほれる秋刀魚かな
青空に雲と重なる赤とんぼ
黙々と栗むく二人夜長かな
コスモスや遠き日の夢今もなお

渡邊 豊博 (さゆりが丘)
星 多恵子 (上原)
渡邊力オル (さゆりが丘)
武藤奈美恵 (上小島)
藤田 静子 (上野尻)
横山るみ子 (下小屋)

聞いて! わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。

今月は特設陸上部の部長を務める3年・江川遥人さんです。



わたしの夢——

「私の将来の夢は、サッカーに携わる仕事に就くことです。小学生の頃から父の影響でサッカーを始め、スポーツ少年団などで練習を続けるうちにいつからかこれを職業にしたいと考えるようようになりました。どのような職種を目指すかはまだ決めていませんが、サッカーに関わる仕事に就けるよう頑張っていきたいと思っています」

努力していること——

「どのような職業に就いたとしても、あいさつは大切なことだと思うので、自分からのあいさつをいつも心掛けています」

未来の自分に一言——

「今は何の仕事をしていますか? これからも努力を惜しまず頑張ってください」

まちの人口 ～10月1日現在～ (前月比)

人口	6,976人	(-10人)
男	3,355人	(-7人)
女	3,621人	(-3人)
世帯	2,746世帯	(-3世帯)

戸籍の窓口 ～9月受付分～ 〈敬称略〉

お誕生おめでとう

伊藤 環ちゃん 仲・史 1町内



ご結婚おめでとう

岩渕 大 縄 沢
木村 琴美 東京都北区



お悔やみ申し上げます

長谷川 利 範 (78)	利 秋	父	申 野
神田 定 光 (53)	羨 子	子	上野尻
佐藤 つねよ (91)	秀 男	母	宝 川
武藤 武 雄 (89)	武 次	父	八重窪
岩橋 傳 (80)	武 雄	父	中 町
小野木 シ ゲ (92)	健 二	母	小 山



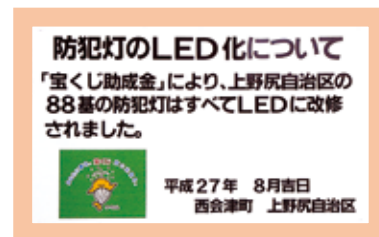
百歳賀寿



伊藤町長から賀寿を受け取る佐藤シゲノさん(滝坂)

滝坂の佐藤シゲノさんが9月21日に、黒沢の渡部キノさんが10月12日に満100歳を迎えました。2人は大正4年の生まれで、同日にそれぞれ行われた賀寿贈呈式では、親族が見守る中、伊藤町長が賀寿と祝い金を贈りました。佐藤さんと渡部さんが満100歳になり、町の100歳以上の方は13人となりました。

コミュニティ助成事業で街路灯をLED化



上野尻自治区では今年度、一般財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成を受け、防犯灯をLEDに改修しました。この助成は、自治総合センターが地域社会の発展と住民福祉の向上などを目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として行っています。

町教育委員会委員の異動



欠員となっていた町教育委員会委員に平野マチ子さん(上野尻)が任命されました。委員の任期は平成27年9月24日から平成28年10月4日までです。

町選挙管理委員会委員の改選



委員長

豊島 洋一さん
(下野尻)



委員長
職務代理者

佐藤 秀一さん
(上小島)



委員

高濱 秀道さん
(8町内)



委員

伊藤 重人さん
(塩)

町選挙管理委員会委員の任期満了に伴い、9月議会定例会で4人の委員が決定しました。任期は平成27年9月29日から平成31年9月28日までの4年間です。

◆委員補充員

多田 修さん(7町内) 三留南海雄さん(縄沢)
齋藤 和則さん(上野尻) 武藤 達朗さん(柴崎)

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536

世界の名車・旧車が勢ぞろい！

9月27日、車好きが集まる東北最大級のクラシックカーイベント「第12回西会津ふるさとなつかしcarショー」がさゆり公園で開催されました。会場には往年の名車約250台のほか、自衛隊や警察、消防の特殊車両など多くの車が集まり、大勢の愛好者や家族連れでにぎわいました。

こゆりちゃん
トピックス



[写真]①エンジン音を聞きまショーの様子／②セドリック白パト仕様3台セット／③来場者にアンケートをお願いする西会津ふるさとファンづくり協議会の皆さん／④除雪の特殊車両／⑤最後はなつかしCarをお見送り／⑥観光クルー・しょうじんデナー撮影会。車はなつかしCar OF THE YEAR 2015を受賞したシェルビーコブラ427/SC(1965年式)／⑦授賞式の様子／⑧高所作業車の乗車体験／⑨バイクも大勢来場しました／⑩復興応援オリジナルミニカー／⑪かわいいで賞を受賞したメッサーシュミットKR200

今月の表紙

今回の公募展では、第10回特別企画として歴代学生・青少年の部の大賞受賞者作品展が行われたほか、10月10日から15日のイベント期間中には、子ども語り部やコンサート、自然織体験教室、版画教室などが開催されました。



広報にしあいづ
2015 (平成27年)

11月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。